

基地問題等調査特別委員会会議録

招 集

令和6年9月30日（月）予算決算委員会終了後 議会委員会室

出席委員（８名）

(委員長) 岩 崎 康 朗 (副委員長) 安 達 卓 是
門 脇 一 男 国 頭 靖 田 村 謙 介 徳 田 博 文
錦 織 陽 子 渡 辺 穰 爾

欠席委員（０名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総合政策部】 佐々木部長

「まちづくり企画課」 齋木課長 藤堂課長補佐兼まちづくり企画担当課長補佐

参考人

【中国四国防衛局】

「企画部」大塚匠次長

〔地方調整課基地対策室〕 細光俊亮室長補佐

【航空自衛隊美保基地】

[監理部]大西真治部長 2 等空佐

高田成美基地対策専門官

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 田中庶務担当係長

傍聽者

伊藤議員 稲田議員 今城議員 岡田議員 津田議員 戸田議員 西野議員 又野議員
松田議員 森田議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員
報道機関 4社 一般 0人

報告案件

・KC-46A空中給油・輸送機の着陸による滑走路の一時閉鎖について

~~~~~

午前10時20分 開会

○岩崎委員長　ただいまより基地問題等調査特別委員会を開会いたします。

初めに、報道機関から撮影の申出がありましたので、これを許可いたします。

今日は、当局より 1 件の報告がございます。

KC-46A空中給油・輸送機の着陸による滑走路の一時閉鎖についてでございますが、この案件については、配付してますとおり、中国四国防衛局及び航空自衛隊美保基地より、参考人として本委員会に出席いただきたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

○岩崎委員長 御異議ありませんので、そのように決定いたします。

では、御案内をお願いいたします。

〔参考人、着席〕

○**岩崎委員長** それでは、総合政策部、佐々木部長より御紹介をお願いいたします。

佐々木総合政策部長。

○**佐々木総合政策部長** それでは、本日の御出席者、まず御紹介を申し上げたいと思います。

航空自衛隊美保基地、大西真治監理部長様であります。

続きまして、中国四国防衛局、大塚匠企画部次長様であります。

航空自衛隊美保基地、高田成美基地対策専門官様であります。

中国四国防衛局、細光俊亮基地対策室室長補佐様であります。以上であります。

○**岩崎委員長** 本日は、よろしくをお願いいたします。

それでは、説明をお願いいたします。

大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** 美保基地第3輸送航空隊司令部監理部長、大西でございます。本日はお忙しい中お時間を賜り誠にありがとうございます。また、先月発生いたしましたKC-46A空中給油・輸送機の着陸に伴い、滑走路が一時閉鎖となり、3便の民間航空機に対して影響を与え、皆様に多大なる御心配と御迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。本日は、事象の概要、推定原因、これまでに実施した事項等、最後に、今後の予定について御説明をさせていただきます。

それでは、お手元の資料、1枚おめくりください。まず、事象の概要についてです。8月6日、当該機体については、日本海奥尻島の南西洋上において、三沢基地第3航空団所属F-35Aとフライングブーム方式による空中給油訓練を行いました。ここで、フライングブーム方式について御説明いたします。お手元の資料、左側の写真を御覧ください。こちらの写真についてはKC-767とF-15の様子ですが、KC-46A及びF-35Aについても同様、KC-46Aの機体後方下面にあります空中給油ブームを下げ、空中給油機内にいる搭乗員の操作により空中給油ブームを受油機側であります戦闘機に差し込み、燃料を給油するという方式になります。15時頃、当該機体に空中給油ブームが格納できないという事象が発生したため、必要な確認及び対処手順を実施し、直ちに着陸する必要があることと空中給油ブームを下げた状態で着陸した場合においても気化した燃料に引火する事故等を防止できることが確認できたため、整備体制が整っております美保基地に帰投させることが最適と判断をし、19時8分、美保基地に着陸をいたしました。当該機体着陸後、約2時間にわたり滑走路を一時閉鎖。結果といたしまして、民間航空機3便の運航に影響を与えてしまいました。

それでは、1枚おめくりください。続いて、推定原因です。空中給油ブームは、通常お手元資料左側にある状態で、右側の写真にある機構により空中給油ブームを機体と機械的に固定しておりますが、当該機体着陸後の点検において、この当該機構が損傷し、空中給油ブームが格納できない状態であったことが判明いたしました。空中給油訓練中に発生した可能性が高いと考えておりますが、その経緯については現在調査中であります。

次に、これまで実施した事項等についてです。まず、当該機体以外の機体について整備用マニュアルに基づき機体の各種点検を行い、空中給油ブームの固定する機構の不具合が

ないことを確認するとともに離着陸及び機構に関して問題ないことを確認しております。なお、製造会社からも離着陸及び機構に関して問題がない旨の回答を得ております。また、搭乗員に対し、離着陸及び航法訓練等に係る基本手順及び緊急手順を規則類等を用い、再教育を実施するとともに関連手順について徹底をいたしました。

それでは、1枚おめくりください。最後に、今後の予定についてです。まず、空中給油ブームを固定する機構の損傷経緯については現在調査中ではありますが、機構に関して問題がないことを確認できたため、操縦者の練度維持のため、離着陸及び航法等の空中給油ブームを使用しない飛行訓練については通常どおり計画したいと考えております。なお、空中給油及び飛行中に空中給油ブームの稼働については、原因の究明と対策を実施し、改めて御説明させていただいた後、再開をしたいと考えております。本日の説明については以上となります。

改めまして、今回の件で皆様に多大なる御心配と御迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。飛行に当たっては安全に万全を期してまいりたいと思います。また、現在調査中ではありますが、原因が判明次第、改めて皆様に御説明させていただく場を設けさせていただきたいと思っております。引き続き原因究明に取り組み、適切な対処を実施し、皆様に安心していただけるよう誠意を持って取り組んでまいりたいと思います。以上となります。

**○岩崎委員長** 説明が終わりました。

委員の皆様からの質疑、御意見を求めます。

安達委員。

**○安達委員** 説明いただきました。ありがとうございます。

何点かお聞きしたいことがありますので、よろしくお願いします。今説明があったKC-46Aとか767ですよね。メーカーはボーイングだと思っていますが、間違いありませんか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 製造メーカーはボーイングです。

(「はい、ありがとうございます。」と安達委員)

**○岩崎委員長** 安達委員。

**○安達委員** それで、今日の説明を受けて再開ということを言われようとしてるんですが、再開に当たって防止策や翻って原因究明っていうのをもう少し丁寧にされないと思うんですが、どうでしょうか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 損傷に至った経緯等については現在調査中でありますので、こちらでは申し述べることはできません。しかしながら、当該航空機以外の航空機については整備用マニュアルに定められた点検及び空中給油ブームを固定する機構に異常がないことは確認いたしておりますので、それで空中給油ブームが飛行中に意図せず動くことがないと判断しております。

**○岩崎委員長** 安達委員。

**○安達委員** なかなかその説明が不十分のように思うわけでして、地上で機材が飛んでるのを見て、今回の案件が非常に不安に思ったわけです。今までに基地に、固定した状態で

機材の内部構造なんかを見させてもらったことがあるんですよね。見学ということで。この機材、先ほど言われましたように、メーカー、ボーイングの機材を、旅客機仕様なんだけれども、タンクに改造するっていう言い方、私では分かりにくいんですね。機材を改良して、タンク様式にして空中給油をしたいというのを見てきたんですが、そういう旅客仕様のを、給油するためのタンクに改造して飛ぶのが安全かなっていうふうに当時見させてもらいました。何年か前ですけども。そういうことを見ながら、今回のこういう事案が発生したんですけども、そうですね、分かりました、安全ですね、ということに、そこに自分自身が到達できないことをあえて言うておきます。

それと、もう1点ですが、今回この案件が起きたんですけども、8月に米子飛行場周辺地域振興協議会の会議を傍聴させてもらった。そのときに、機材について増機する、いわゆる増やすような話、意見が出たんですけども、続いてお聞きしたいのは、今、何機配備されていて、これから何機、本年度、それで次年度以降、何機計画されているか、この場で教えてもらいたいと思うんですが、どうですか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 正式に私のほうからお答えできる範囲でお答えをさせていただきたいと思います。まず、現在、美保基地には4機、KC-46Aが到着をしております。私の記憶で、令和の2年に、当時、中国四国防衛局のほうでKC-46Aの導入について、地元に対して御説明をさせていただいたと思いますが、その際には6機のKC-46Aが美保基地に配備されるということで御説明がなされてるものと認識をいたしております。ですので、今4機ございますので、あと2機、今後入ってくる予定となっております。また、そのほかの増勢については、私のほうではお答えができるものではございませんので控えさせていただきます。

**○岩崎委員長** 安達委員。

**○安達委員** 残りっていうふうに取ってしまったんですが、2機は今年度中とか、次年度っていうか、今の時点で分かれば教えてもらえますか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 既に契約が終わっている2機に関しましては、今の計画どおり今年度中に美保基地に入ってくる予定であります。

**○岩崎委員長** ほかにありませんか。

渡辺委員。

**○渡辺委員** 今御説明されたことの確認をしたいんですけど。このたび、このブームが戻らなくなったっていうことですよ。それで結局、滑走路を2時間閉鎖した。これは分かりやすいんですけども。この空中給油の訓練は、原因究明なり何とかされるまでは行いませんと。ただし、上がる下がる、航空の訓練をさせてくださいと。なおかつ、今回事故を起こした機は、不具合起こした機は飛ばない、この間は。ということで、それで原因とか対処策ができたなら、改めてこういうふうの説明に来られるという説明に私は取ったんですけども、これは間違いはないか確認させてください。

**○岩崎委員長** 大西美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、今回の空中給油ブームが固定できなかった、その損傷に至った経緯、原因が分かり次第、また改めましてこのような場を設けさせてい

ただいた後に皆様に御説明をしようと考えております。飛行に関しては、今回この事象を起こした当該機を除く機体を使いまして、空中給油ブームは機体に完全に固定をした状態で通常どおりの固定を確認して動かさないと。ただ離着陸をして、航空路を飛んで、操縦者の技量を維持するということで考えております。

○**岩崎委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 私は、それだったら了としたいというふうに思うんですけどね。以上です。

○**岩崎委員長** 徳田委員。

○**徳田委員** 今後の予定のところ、(1)で操縦者の練度維持ということで、この点について詳細にお聞かせいただきたいと思います。

素人考えでございますけど、空中給油するぐらいですから、この操縦者というのは何か特殊なライセンスといいますか、そういったものは必要なんでしょうか。その上でもっての練度維持ということで理解していいのかどうか、ということでお伺いしたいと思います。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、航空機の操縦については、その航空機に対しての資格というものがございます。パイロットの技量維持については、通常どおりの離着陸もございますが、いろいろ何かが起こったときの対処手順というものもございます。ですので、当該機を使って必要な手順を行うということが必要となってまいります。

○**岩崎委員長** 徳田委員。

○**徳田委員** したがいまして、特殊免許、免許が必要だというお答えでございましたので、練度維持する点では、一般の免許の考え方でございますが、何年か更新だとか、あるいは、そういった事象は発生するものなんでしょうか。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** 操縦士の技量維持のために、詳細は述べられませんが、必要な年間に行わなければならない訓練というのが決まっております。また、年に一度、その技量を維持しているかどうかという検定、試験も受ける必要がございます。

○**岩崎委員長** 徳田委員。

○**徳田委員** 私も先ほど渡辺委員が言われたような格好で、本件は了としたいと思います。理由は、一応もう安全もしっかり担保されてるということで、なおかつ今後の対応についても、事前に根本的な究明等対策を実施された上で、説明をしていただいた後に再開ということを明確に今答弁されましたので、私としては了としたいと思います。以上です。

○**岩崎委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** 今日はお疲れさまです。

それでは、何点か質問をさせていただきたいと思います。今回、緊急着陸したわけですが、この緊急着陸するまでの時間が通常訓練しているときに、午後3時に異常が発生して、緊急着陸するのは整備などの体制が整っているからということで、それを確認して午後7時8分に緊急着陸したということですけど、かなり時間がたってますけど、やっぱりこれは給油することなので、通常の航空機とは違ってかなり燃油も積んでたと思うんですけども、そういうものを除してっていうか、危険性を排して航空時間を長くしたのかっていうことについて、お聞きしたいと思います。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、今回事象が発生したのが北海道の奥尻島の南西というところで、美保のほうまで戻ってくるのにも時間を要しております。あと、発生した段階で必要な確認と手順等を行っており、これだけの時間を要していると。最終的には降りたときの状況も把握をした中で、想定した中で燃料、そういったものも着意をしたところはございます。

**○岩崎委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 満タンだったかどうかということは、なかなか言えないというふうに思いますけど。それで、緊急の手順について再度再教育するということなんですけど、緊急の手順については問題なかったと考えておられますか。

**○岩崎委員長** 大西美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 製造メーカーのほうより、今回のような空中給油ブームが格納できない状態においても着陸する手順というのが定められております。それに従って今回も対処をしておりますので、問題がなかったと考えております。

**○岩崎委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** これまでに実施した事項等では、点検及び製造会社の回答からってということで、この文面から見ますと、製造会社の方は直接には美保基地のほうには来ておられないということでしょうか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、美保基地にいる整備の隊員が点検をしているのと、あと、製造会社の技術員が実際に物を確認をしております。

**○岩崎委員長** 錦織委員。

**○錦織委員** 国内では、小松基地にあるKC-767ですかね。あれとは違って米軍機への給油が唯一可能なのがKC-46Aということで、美保基地に納入されるということについても、かなり私たちは危機意識を持っておりました。それで、KC-46Aについては、納入前から、いろいろ試験運転の過程で給油に関して幾つかの問題点が指摘もされています。中には、そういう不具合で開発が延期になって、納入されるのも予定よりも大分ずれ込んだというふうに記憶しておりますけれども、給油ブームが低推力の機体への給油中に機体の動きに合わせて作動しないとか、それから、給油口の配管に水分がたまって凍って膨張して亀裂が発生するだとか、そういったいろいろな不具合があって、しかし、そういう不安はあるんですけれども、機体の改修をしないままに納入をされています。このときの防衛局の説明では、運用で対応が可能だとか、美保基地周辺の安全を脅かすような問題ではないというふうに、そのまま納入されたというふうに、配備が進められてきたという、実際にはそういうことがされてきました。そういったことがあった中での今回の事故でして、御説明いただきましたけど納得し難いというふうに思っていますが、今後の機体改修ってことは当然していただくべきですし、それから今後の原因究明ですね、なぜそういうふうになったかというのは徹底的にさせていただくっていうのは当然なんですけれども、議会での説明だけではなく、やっぱり住民説明会等を、境港市だけでなく米子市内でも開いていただきたいというふうに思いますが、その点ではどうでしょうか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** その件に関しましては、米子市様と対応について話

合いをして、適切に対応してまいりたいと考えます。

○**岩崎委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** 適切にということですけど、ぜひともそれは責任上行うべきだというふうに思います。

もう1点なんですけど、8月6日に事故があってから、練度維持のために今、飛行の訓練は再開しておられるんですけど、これはいつから再開されたんでしょうか。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、8月6日に本事象が発生いたしましたが、それ以降、まだKC-46Aについては飛行をしておりません。

○**岩崎委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** 分かりました。

当然だというふうに思いますけれども。ほかの機種についてですね、当然、事故のあった機種だけでなく、ほかの3機についてもそうですか。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** KC-46A自体、全ての機体、現在飛行はしておりません。

○**岩崎委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** それは当然なことですけども。よかったと思いますけれども。KC-46Aが、先ほども言ったように、私は完全なものでないというふうに思っていますので、今後の配備も含めて注視していただきたいというふうに申し添えて、私の意見は終わります。

○**岩崎委員長** ほかにありませんか。

田村委員。

○**田村委員** 今日はお越しいただき、ありがとうございました。

何点か質問させてください。以前、先ほど来、話出ましたKC-767ですが、これ小牧配備のときに同じような事象がございまして、岐阜基地に緊急着陸をしたということがございました。今回北海道の近くで飛んで、民航機3便残った状態での米子に着陸されたというのは、やはりそういう何か理由というのはあったんでしょうか。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○**大西航空自衛隊美保基地監理部長** まず、今回の事象については、空中給油ブームが格納できないという状態でありました。これを考えた場合に、着陸後に空中給油ブームが滑走路と接触をし、着陸後、航空機や滑走路、こういったところに損傷を与える可能性を考慮いたしまして、万が一そういった事態が発生した場合においても、クレーンや整備機材、そういったKC-46A専用の機材が整った美保基地に着陸することが最も適切と判断をいたしまして美保基地に着陸をさせております。

○**岩崎委員長** 田村委員。

○**田村委員** よく分かりました。

次に、今要望されていらっしゃるの、パイロットの練度を高める、維持するという目的なんですけど、例えばこの給油に関わるオペレーターであったりとか、そういった方も同時に行かれてシミュレーションするとか、そういったことはあるんでしょうか。

○**岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 今回飛行を再開した場合、まず、メインはパイロットの技量維持というところになります。もちろん搭乗するときはオペレーターも飛行機に乗ることを予期しております。しかしながら、実際ブームを操作するとか、そういったことはございませんので、そういったところでは多少影響があるかと思えます。

**○岩崎委員長** 田村委員。

**○田村委員** よく分かりました。

先ほど来、この対策についてはしっかりやっていただくということと、また説明もしていただけるというふうなことで、それと、事故後一切の飛行を停止されているという対応についても適切であったというふうに考えますので、今回の申出については了と考えると思います。以上です。

**○岩崎委員長** ほかにありませんか。

門脇委員。

**○門脇委員** 今日はどうもありがとうございました。

私も私なりの意見を言わせていただきたいと思います。まず、先ほどから説明いただきました訓練について、飛ばして訓練はまだしていないってことでございましたけれども、これって地上での訓練とか、その他の訓練ですね、そういうものは現在やっておられますか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 先ほど申し上げましたとおり、今後皆様の御理解が得られた後に飛行を計画して飛び始めるときのために、今、基本手順であったり緊急手順、こういったものの教育とか、そういったことは行っております。

**○岩崎委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** やはり有事のときに、いざ飛ばさないといけないっていったときに訓練がなされていない、この状態で飛ばすってなったときに、私はそのほうが不安だと思っております。今回の事象は空中給油ブームが格納できなかった、こういうことでありましたけれども、操縦者の練度維持といいますか、これ向上も含めて、やはりそういうことは非常に大事だと思っておりますので、空中給油ブームを使用しない訓練を行うっていうことでありますので、私としても今御説明いただいた内容で何ら問題はないと考えておりますので、了としたいと思います。以上です。

**○岩崎委員長** ほかにありませんか。

国頭委員。

**○国頭委員** 今日は説明ありがとうございました。

不勉強なんで聞きたいんですけども、先ほどからあったように、国内でのこういったトラブルっていうか、この空中給油機についての事象っていうのは今回が国内では初めてだったということですか。

**○岩崎委員長** 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

**○大西航空自衛隊美保基地監理部長** 今回事象を起こした当該機と同機種はKC-46A、これに関しては国内では初めてです。先ほどお話ありましたとおり、KC-767については、たしか16年前、2008年だったと記憶しておりますが、そこで一度あったのみと記憶しております。

○岩崎委員長 国頭委員。

○国頭委員 空中給油機のこの特性上、ブームのところ、給油するところと、それから差していくという、固定しているところがこういった作業をやっているときに損傷するというのはあり得ると思うんですけども、いろいろトラブルがあるというのは分かるんですけども、やはり通常の整備っていうか、それから耐振性っていうか、そういうものは外国製ですのでどうとは言えないかもしれませんが、そういったところを今後しっかり検証も含めてやっていただきたいと思います。

もう一つ聞きたいんですけど、2ページの右側の格納されなかった給油ブームということでもありますけれども、そのまま美保基地に降りられたと思うんですけども、このときは滑走路にどのぐらい損傷があったんですか。

○岩崎委員長 大西航空自衛隊美保基地監理部長。

○大西航空自衛隊美保基地監理部長 当該機着陸後、滑走路、点検のため閉鎖をしております。その点検において損傷はないことは確認をしております。しかしながら、着陸のときに空中給油ブームと滑走路が接触しておりますので、擦過痕、こすった痕、これについてはございます。確認をしたところ補修の必要はないと判断をいたしまして、滑走路を清掃した後に運用を再開しております。

○岩崎委員長 国頭委員。

○国頭委員 先ほど錦織委員も言われた、どの程度燃料を残したまま着陸されたかあれですけれども、そのまま着陸しても大丈夫だっていうことの判断の下で着陸されたと思いますけれども、そういった全てのシミュレーションをやられて着陸されたと思いますけれども、やっぱり何かあったら大事故だったと思いますので、その点しっかりと調整されて今後の運用を考えていただきたいと思います。以上です。

○岩崎委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岩崎委員長 ないようですので、本件については終了いたします。以上で報告案件が終わりました。

中国四国防衛局及び航空自衛隊美保基地の皆様は、本日お忙しい中お出かけいただき、誠にありがとうございました。

以上で、基地問題等調査特別委員会を閉会いたします。

午前10時59分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

基地問題等調査特別委員長 岩 崎 康 朗